

「跡見学園紀要」既刊目次

第一 (一九四五)

火と古代日本人の宗教……………橋 純一  
 古今和歌集両序の研究……………今 井 卓 爾  
 アクセント私見……………林 大  
 満洲語学小書目……………山 本 謙 吾

第二 (一九五五)

附 橋 純一教授略年譜・著述略目録  
 アダムスミスの「道徳哲学」について……………森 園 節 生  
 竜華経の研究……………沢 田 瑞 穂  
 「守宮」と「蜥蜴」「蝶蝨」について……………坂 田 勝  
 蜻蛉日記と周辺の人たち……………今 井 卓 爾  
 助動詞「めり」の起原について……………小 松 登 美  
 宮沢賢治の文学における「まこと」の意義……………恩 田 逸 夫  
 — 作品「めくらぶどうと虹」を中心として観た四次元芸術の解明 —

第三 (一九五八)

小倉百人一首序説……………中 島 悦 次  
 新古今歌論の形成序説……………田 尻 嘉 信  
 宮沢賢治挽歌の中心課題とその展開……………恩 田 逸 夫  
 三世一身法及懇田永世私法有法の成立……………下 川 逸 雄  
 アイゼンク博士の精神検査……………伊 藤 祐 忠  
 血漿蛋白質におけるチロシンの結合状態……………鷲 尾 俊 文  
 Pherol Ester in Molecule

第四 (一九五九)

宇治拾遺物語序説……………中 島 悦 治  
 王朝長歌論抄……………田 尻 嘉 信  
 分析化学の教育的基礎……………梶 田 凡 平  
 超双曲型作用素の基本解について……………佐 久 間 求 一

研究報告 (昭和33年特別研究費)

Pgruvate Kinase Nucleofidile 特異性について……………鷲 尾 俊 文  
 女子学生の健康管理を基本とする実態調査……………有 富 光 子・石 田 き よ  
 近藤美千代・西 田 寿 美  
 道德教育のための基礎資料……………中・高校教務部

「跡見学園短期大学紀要」既刊目次

第一集

「神話」の展開……………中 島 悦 次  
 「定家卿百番自歌合」小考……………田 尻 嘉 信  
 アダム・スミスにおける 道德是認の問題……………森 園 節 生  
 満洲語基礎語彙Ⅱ・衣篇……………山 本 謙 吾  
 本学における家政科授業課目とその再検討……………有 富 光 子

第二集

「神話」の展開 (承前)……………中 島 悦 次  
 スエーデンの学校教育……………鷲 尾 俊 文  
 和歌における羈絆と場と……………伊 藤 嘉 夫